| 学校番号 | 416 |
|---|---|

# 令和８年度　数学科

| 教科 | 数学 | 科目 | 数学Ⅱ | 単位数 | ３単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 数学Ⅱ　Standard（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | Standard Buddy WRITE 数学Ⅱ（東京書籍） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

各単元において，基礎的な内容を中心に扱いながら，生徒の理解度に応じた授業を行う。また，内容に応じて，実験的・実践的な授業や，独自教材での授業も積極的に取り入れる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身につける。
【思考力，判断力，表現力等】
事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
【学びに向かう力，人間性等】
問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | いろいろな式，図形と方程式及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身につける。 | 式の性質，不等式，座標平面上の図形，関数について要素間の関係に着目し性質を論理的に考察し事象を的確に表現する力を養う。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身につけている。 |

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 1章　方程式・式と証明 | ・3次式の展開と因数分解<br>・二項定理<br>・多項式の割り算<br>・分数式 | a：展開の公式，因数分解の公式を利用できる。二項定理を利用して展開式やその項の係数を求めることができる。<br>b：二項定理とパスカルの三角形を結び付けて考えることができる。<br>c：展開，因数分解の公式を理解しそれらを活用しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 小テスト<br>学習活動への取組み<br>課題，提出物の状況 | 学習活動への取組み<br>課題，提出物の状況<br>振り返りシート |
| 2学期 | 1章　方程式・式と証明 | ・複素数<br>・２次方程式の解と判別式<br>・解と係数の関係<br>・剰余の定理<br>・因数定理<br>・高次方程式 | a：複素数の四則計算ができる。解と係数の関係を使って２次方程式の係数を求めることができる。<br>b：多項式を割り切る１次式とあまりの関係について理解し，それを式で表現できる。<br>c：２次式を複素数の範囲で因数分解することに興味を持ち問題に取り組もうとする。 | 定期考査<br>小テスト | 小テスト<br>学習活動への取組み<br>課題，提出物の状況 | 学習活動への取組み<br>課題，提出物の状況<br>振り返りシート |
| | 2章　図形と方程式 | ・直線上の点<br>・平面上の点<br>・直線の方程式<br>・２直線の関係<br>・円の方程式<br>・円と直線<br>・軌跡と領域 | a：座標平面上の２点について距離とそれらを通る直線を求められる。<br>b：特定の条件を満たす図形について座標と式を用いて表現できる。<br>c：数直線上の点に関する公式を利用して平面上の問題を考察しようとする。 | 定期考査<br>小テスト | 小テスト<br>学習活動への取組み<br>課題，提出物の状況 | 学習活動への取組み<br>課題，提出物の状況<br>振り返りシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 5章 微分と積分 | ・微分係数<br>・導関数<br>・接線と方程式<br>・関数のグラフ<br>・不定積分<br>・定積分<br>・面積 | a: 平均変化率，導関数の求め方を理解している。導関数の計算ができ，それを利用して関数のグラフをかくことができる。積分の性質を理解し面積を求めることができる。<br>b: 関数の増減を接線の傾きから考察することができる。<br>c: 関数の増減や極値の問題を，導関数を用いて調べ解決しようとする。直線や曲線で囲まれた部分の面積を，定積分を用いて求めようとする。 | 定期考査<br>小テスト | 小テスト<br><br>学習活動への取組み<br><br>課題，提出物の状況 | 学習活動への取組み<br><br>課題，提出物の状況<br><br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度